

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和7年3月31日

事業所名：リハビリ発達ルームわおん

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など	具体的な改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか	86%	14%	・幼児が複数で運動を行うには、スペースや遊具の配置などを変えてもいいと思う ・同じ施設に2施設あるため、個室スペースが足りない時がある	・2施設分の活動スペースの基準を満たしております。 ・意見を基に、活動スペースの配置を変更しました。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか	100%	0%	・朝から就業まで子どもが来所し、送迎も時間別個別な為、1人でも欠員が出ると業務が滞る場合が多い。運動、言語療育、各種係など兼任するスタッフがいない為、サブは用意した方がいいと思う	・意見を基に療育/送迎/事務スタッフの増員を行いました。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障がいの特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか	100%	0%	・幼児期は年齢による対応が大きく違う為、特定の環境設定では難しい場面もあるが、シンプルな作りにはなっていると思う	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか	86%	14%	・敷き詰めているマットが臭う ・掃除はこまめに行われているが、布製品の洗濯や床に染み込んだ匂いなど施設内容だけでは対処できない汚れがある	・日々の掃除は実施していますが、意見を基に、閉所日にマットの洗浄を行い、現在は臭いは軽減していると思われる。引き続き、清潔で心地よく過ごせる環境作りを行っているよう努めます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか	86%	14%	・個室が足りないと感じます ・利用者が増えたことや、個室を療育以外でも使用する為、言語療育時に個室を使用できないことも多い。刺激のある場所でも集中できるかを見るために個室外で言語療育を行う場合もあるが、仕方なく個室外で療育を実施することも多く、改善が必要だと思う	・意見を基に、職員間で検討し、活動スペースの配置を変更しました。 ・引き続き、個室使用のスケジュールを必ず立てる等の対応も行い、療育環境を整えられるに努めます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	100%	0%	・よく研修が行われている	
	7	保護者等向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか	100%	0%	・先日アンケートが実施された	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか	86%	14%	・現場と管理職との行き違いもあるが、療育スタッフ間でもかかる負担の大小に違いがあると思う。得て不得手はあるが、それが理由で業務差が出るのはよくない傾向だと思う	・意見把握を行いながら、業務負担について検討していきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	29%	71%	・よく他事業所のスタッフが出入りしている	・ファミリーとして、第三者委員会による外部評価は実施していません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか	100%	0%	・定期的に各職種のミーティングが開かれている	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか	100%	0%	・プログラムは作成できているが、それに必要な物品や道具を作成する時間があまりなく後回しになりやすい	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画（以下、個別支援計画）を作成しているか	100%	0%	・保護者や保育園と、より密に連携した上で、一般的に必要な能力だけに注目するのではなく、その子にとって必要な能力にも目を向ける視点が増えるといいなと思う	
	13	個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか	100%	0%	・その子にとって何が最善かを考えるには、施設外でかわりのある周囲の大人からの聴取や本人の姿を見る機会があってもいいと思う	
	14	個別支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか	100%	0%	・カルテに計画書が挟んである為確認しやすい	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか	100%	0%	・個別スケジュールを使用している	
	16	個別支援計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらいおよび支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	100%	0%		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%	0%		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%	0%	・職種が増えたことにより、レパートリーは広がったように思う	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成し、支援が行われているか	100%	0%	・幼児の集団を回すために、各年齢の特徴や本人の性格、特性の理解、その時のメンバーによってかける言葉選びや大人の立ち位置、目線なども意識できると良いと思う。個別に関しては、各職種がローテーションで療育に入るため、さまざまな視点から観察ができて良いと思う	

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など	具体的な改善目標
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか	86%	14%	・1日の中で皆で情報を共有できる時間があつたらいいと思います。 ・朝のスケジュール組で細かくきまっている	・職員で支援内容や役割分担を話し合いながら、スケジュールを作成し支援を行っています。 ・勤務時間や送迎業務等の都合上、全員での時間確保が難しい状況ですが、方法を検討していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	86%	14%	・時間がある時のみ行なっている	・勤務時間の都合上、全員での振り返りが難しいため、チャットツールを使用し情報共有を行っています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%	0%	・支援を考えることはできているが、担当スタッフ以外からの意見を取り入れる機会はありません	
	23	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか	100%	0%	・pt.ot.st.保育士と4つの職種がいるが、それぞれの職種からの視点を取り入れるのは時間的にできないため、担当スタッフの職種により支援方針に偏りがでる場面もあると思う	・職種による偏りがなく、児童発達支援管理責任者が中心となり、担当職員の意見を踏まえ計画を立案しています。モニタリング会議や研修を通して、職員全体が複数の視点を持つことができるように努めます。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解したものが参画しているか	100%	0%	・管理者が詳しく説明している	
	25	地域の保育、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか	100%	0%	・時折訪問が行われている	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100%	0%	・家庭や園などやり取りがある	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100%	0%	・希望により報告書の作成もおこなっている	
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか	71%	29%	・施設外の支援についてはほとんど知る機会がない	・就学前の情報提供書の作成や必要時の情報共有を行っています。 ・各種会議等を通して、相談・連携しやすい環境づくりに努めています。
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか	14%	86%	・園や学校での様子も知りたいと思います ・支援については施設ないで完結している印象	・特別に機会を設けた交流は行っておりませんが、ご希望に応じて検討します。 ・園でのご様子は面談や担当者会議等を通して把握していますが、情報の共有を徹底します。
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%	・伝達時に詳しくやりとりすることもある	
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか	71%	29%	・希望によりプログラム作成が行われている	・プログラム形式ではありませんが、療育時や面談時にご家庭での関わり方や対応方法について情報提供を行っています。
	32	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	0%	・管理者が行なっている	
保護者への説明責任等	33	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか	100%	0%	・子どもの希望と保護者の希望の擦り合わせはできてきていると思う	
	34	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	100%	0%	・サインをもらう際に説明している	
	35	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか	100%	0%	・経験や知識を合わせ、保護者の不安や希望に対して傾聴や助言は行われている	
	36	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援しているか	14%	86%	・父母会などは現場ない	・現在、保護者会等は開催しておりません。ご希望に応じて検討します。
	37	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	0%	・可能であれば保護者の希望を聞き入れている	
	38	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか	100%	0%	・広報が行なっている	
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか	100%	0%	・名前や顔が施設外に流砂しないようになっている	
	40	障がいのあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%	0%	・各家庭や子どもの特性に応じて行なっている	
	41	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか	0%	100%	・地域交流はしていない	・現在、行事は予定していませんが、ご希望に応じて検討します。

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など	具体的な改善目標
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染対応マニュアルを策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	100%	0%	・定期的の実施されている	
	43	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	86%	14%	・研修はあるが、訓練はまだ実施していない	・訓練は定められた頻度で実施しています。
	44	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	100%	0%	・スタッフ間で共有している	
	45	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%	0%	・提供ミスがないよう視覚的にわかりやすくしている	
	46	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な処置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか	100%	0%	・定期的なチェックもしている	
	47	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか	86%	14%		・保護者の方へは、緊急時の対応や避難場所等を契約時に説明しています。職員への周知が十分でなかったため、今後改めて周知します。
	48	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか	100%	0%	・報告書の簡略化が進むほど報告も多くなると思う	・意見を基に、ヒヤリハットについては簡潔な様式としたことで、報告数が増加しました。
	49	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	86%	14%	・スタッフの人数的に、互いの目を意識するためか目立った虐待行為なども見られず安心している	・虐待対策委員会を設置し、定期的に会議と研修を実施しています。
50	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	100%	0%			